

本校の教育計画の概要

1 学校経営方針

(1) 本校教育の基本像(校訓)

生命の尊厳と人間尊重の精神を基盤として、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を培う教育をめざす。

〔めざす児童像〕

いきいきとした明るい児童

〔めざす学校像〕

心の通い合う魅力ある学校

〔めざす教師像〕

日々研鑽する教師

河内っ子 5つのめあて

- ・きまりをまもる子
- ・みんなとなかよくする子
- ・げんきなあいさつのできる子
- ・さいごまでがんばる子
- ・すすんではたらく子

(2) 学校経営の基本方針

- ① 生命の尊厳と人間尊重の精神を基盤とした教育活動を推進し、豊かな人間性や社会性を育む。
- ② 家庭や地域との連携のもと、子どもたちの安全を守る取組を進め、学校全体が学習の場にふさわしく心やすらぐよう環境づくりに努める。
- ③ 「生きる力」を支える確かな学力をつけるため、基礎・基本の徹底とこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。
- ④ 教職員一人一人が、教育の専門家としての教師力・授業力を存分に発揮し、地域に信頼される学校づくりに努める。
- ⑤ 学校の教育活動等に関する情報を積極的に発信するとともに、オープンスクール、学校評議員制度や学校評価システムを活用し、地域に開かれた魅力ある学校づくりに努める。
- ⑥ 幼・小・中の連携を推進し、幼稚園教育・小学校教育・中学校教育の滑らかな移行を実現し、児童の学力向上に努める。

あたり前の事があたり前にできる児童の育成

(3) 本年度の教育目標並びに努力事項

- ① 学力の向上をめざし、基礎基本の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

◆言葉の力を育てる学習活動の充実（研究授業の実施、基礎タイムの充実、ノート指導、ノート展示会の開催等）◆考える力・判断する力・表現する力を育成する（研究授業の実施、学習の見通しを持つ、実践的・体験的な学習場面の設定、グループ学習の推進）◆算数・理科教育の充実（複数の教師が関わるきめ細やかな授業の推進）◆学習習慣の確立（自主的な家庭学習の励行、家庭学習の手引きの発行）◆読書活動の推進（1日30分以上の読書励行）、移動図書館の活用、読み聞かせ◆全国学力・学習状況調査結果の活用、読書活動の充実等

- ② 道徳教育や人権教育を推進し、互いを思いやり、尊重し、命や人権を大切にすることを育む。

◆思いやりやリーダー性の育成（縦割り遊び、異学年交流活動、青少年赤十字活動、ゆめクラブ等）◆自然体験活動の推進（環境体験事業3年、海に学ぶ体験事業4年、自然学校5年等）◆福祉教育の推進（手話・点字体験、揖保の郷・鮎水訪問3年等）◆兵庫版道徳教育副読本の活用◆あいさつ運動、だまって掃除、履き物を揃える、飼育活動等

- ③ ふるさと『河内』に対する誇りや愛着を持たせるとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。

◆河内の良さを知りたい・知らせたい事業の推進（地域指導者の活用、トウモロコシ5・6年、河内隧道4年、紅花・さくらんぼ3・4年、コスモス1・2年、校区探検3年、町探検2年等）◆他校園との交流推進（神部小との交流事業6年、幼稚園との交流1年、ゆめクラブでの交流等）◆児童が目的を持ち、その成果が実感できる交流を実践する。

- ④ 特別な教育的支援を必要とする児童への一貫した支援・協力体制を構築する。

◆特別支援教育推進委員会の充実◆特別支援学校や関係機関との連携◆職員研修の充実等

- ⑤ 児童の内面理解に努め、一人一人が大切にされる学級経営を推進する。

◆教育相談体制の充実（教育相談窓口『ちょっと聞いて』、専門家や相談機関との連携◆子どもと向き合う時間の確保（業務の工夫改善、ノー会議デー）◆児童理解研修、生活アンケートの実施

- ⑥ 家庭や地域と連携し、子どもの安全を守る取組や健やかな体と心を育てる健康教育・安全教育・食育を推進する。

◆震災の教訓を生かした危機管理・防災体制の確立（連絡メールシステムの活用、避難訓練、引き渡し訓練等）◆安全指導の徹底（防犯教室、交通安全教室、下校指導等）◆健康指導の充実（保健室だより「すくすく」の発行、薬物乱用防止教室6年、交流給食等）◆ランニングタイム・新体力テストの実施

- ⑦ 学力の向上をめざし、幼・小・中の連携を推進する。

◆小規模校として、小学校教育から中学校教育への滑らかな移行を推進する。◆中学校教育を見通した学力向上をめざす。◆支援を要する児童が円滑に進学できるように連携を推進する。◆幼稚園教育から小学校教育への滑らかな移行を推進する。

- ⑧ 教職員の資質と実践的指導力の向上

◆平素の授業の重視『一授業、一工夫』◆教員研修の充実（研究授業の実施、教育機関からの講師招聘、研究紀要の発行、研究会への参加）◆信頼される教師集団づくり（使命感と倫理観の保持、接遇の向上）